



オーニット 新本社と工場完成 オゾン装置生産倍増

環境改善機器製造のオーニットが赤磐市桜が丘西に整備していた新本社と工場が完成した。自動設備の導入などで、空気清浄機に取り付けるオゾン発生装置の生産能力を従来の2倍に当たる年間約100万個に引き上げた。新型コロナウイルス禍に伴う受注増などに対応する狙い。

電子部品工場の跡地(約6200平方メートル)と建屋(鉄骨平屋約1300平方メートル)を取得。建屋を全面改修した新工場には、旧工場から移した設備に加え、ロボットなど4種類の自動設備を新たに導入。オゾン発生装

置の電極を覆うガラス部品の取り付けなど、これまで手作業だった工程を効率化した。作業スペースも旧工場の1・7倍に広げた。

新築の本社(同3階延べ約500平方メートル)は、前面がガラス張りの開放的なデザイン。1階にはカフェ風の休憩室を設け、2階は事務所、3階は会議室とした。投資額は約4億円。本社、工場棟とも2月から稼働を始めた。

同社は、ウイルスの不活性化や除菌の効果があるオゾンの発生装置を製造。自社ブランドの空気清浄機などに組み込んで商品展開し

オーニットの新工場。ロボット(手前)など自動設備を導入した

ているほか、大手家電メーカーの空気清浄機向けにも供給している。受注増で旧本社・工場(同市桜が丘東)が手狭になり、社会の衛生意識向上で今後も需要が続くとみて移転を決めた。

仁戸田昌典社長は「品質管理も強化し、より安心して使ってもらえる商品を提供していく。新しいオフィスで企業イメージを高め、人材獲得にもつなげたい」と話している。

同社は1992年設立、資本金5千万円、売上高約29億円(2021年5月

期)。従業員約50人(パート含む)。(伊東圭一)

地方経済